

100年に一度の進化するまちの様子をお届け

長崎MIRAISM

誰もみたことのない未来図を、いっしょに描こう。



市民会館の向かい側に建設中の新庁舎。庁舎前の広場はイベントなどに使用することもできます。

1/4水開庁！長崎市新庁舎



窓口は？展望フロアは？ 気になる新庁舎の最新情報

来年1月4日の開庁を目前に、建設が進む新庁舎。現在は外観の工事がほぼ完了し、新しい市役所の姿を間近で見ることができます。

新庁舎の2階には子育て関係の窓口が集約されます。中央には子どもたちが遊べるキッズスペース（右）を設置。子供連れで安心して手続きができます。



また、19階の展望フロア（下）はとても見晴らしがよく、くつろげるスペースに。なかなか見る機会がない寺町側の様子など今までにない眺望をお楽しみください。

※新庁舎の情報は次号以降も広報ながさきでお知らせします。



問い合わせ

広報戦略室 ☎829-1300

詳しくはホームページ・SNSをチェック！

長崎Miraism

長崎ミライズム

@MIRAISM3

今はインターネットがあるので、澤田さんの頃とは違うシステムにな

* * *

ホテルのフロントマネージャーにお客さんを集めてもらい、マージンを渡す仕組みにして、ガイドは自分と同じ留学生。すると、収入が増えるフロントマネージャーや学生も、お客さんもみんなが喜ぶ仕組みになりました。この経験は、澤田さんがビジネスに目覚めるきっかけになったそうです。

長崎の朝と夜にはまだまだ伸びしろがあります。楽しみです。

夜だけではありません。ビジネス客に長崎らしい朝ごはんを用意しようというプランも始まっています。出島ワーフで海を見ながら食べるコースは好調で、すっかり定着してきました。朝から南山手や水辺の森公園を散歩するのも気持ちよさそうです。



市長の **ホット** とトーク

(今月のテーマ)
ナイトタイム
エコノミー



るかもしれませんが、旅先でその国や街ならではの楽しい体験をしたい気持ちは同じです。
ところが日本は夜の楽しみが少なく、よく指摘されます。夜の経済活動、いわゆる「ナイトタイムエコノミー」にはまだまだ伸びしろがある、ということです。

そこで市では、コロナ禍の後に訪問客が増えることを想定して、夜の楽しみを増やす試みを始めました。長崎港をヨットでクルーズした後、夜景を見ながら食事するコース、夜に中島川でサップに乗って楽しむコースなどが実験的にスタートしていて、今年度中に合わせて6つの新しいチャレンジが始まります。市の補助を受けない民間による新しい取り組みも増えていて、長崎の夜はこれから楽しくなりそうです。